各委員会の事業内容と今後の予定

地域振興委員会

委員長　清水喜三

地域振興委員会は川路まちづくりの目標である「豊かで活力ある安全安心な川路に向けて、

一、川路基本構想の策定
一、地域づくり若者の定住化対策
一、土地利用計画の策定
一、農業・工業・商業・観光等地域産業振興
一、川路まちづくり居住憲章の策定に参加協力
一、川路ふるさと納税PR活動

などを主に、各区より選出された区長・副区長・女性部長の皆様で構成された総務企画部会・産業経済部会に分担して活動しています。

総務企画部会では市政懇談会の開催、広報かわじ年3回発行、ふるさと納税のPR活動、空き家対策及び利用活用等の検討、東京川路会の開催等の活動です。産業経済部会では有害鳥獣駆除対策研究会参加、春めき桜の維持管理、農業振興会議の納涼祭、収穫祭への参画、飯田りんごんの取り組み、天竜峡をどり、天竜峡マルシェ、等を行っています。まちづくり三役をはじめ各委員会各区との連携を図り、「この地区で生まれ育って良かった、暮らして良かった、来て良かった」という地域づくりを目指します。

自主防災会

委員長　今村章次

今年度より、まちづくり災害対策委員会を編入し川路地区自主防災会として活動することになりました。

自主防災会は、本部長（まちづくり委員会会長）部長（区長会）副部長（建設安全委員長）消防団・日赤奉仕団・防災川路・水防組合で構成されています。本会は、地域住民の相互扶助の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより水害や土砂災害、地震等の災害の予防、災害時の対策を図ることを目的としています。6月には土砂災害訓練（全国統一）を実施し反省点を確認しました。

今後の活動は、自主防災会規約の見直し、自主防災事業計画、防災資材機材の整備、9月に行う地震総合防災訓練の計画を実施していきます。

気象庁では、南海トラフ沿いの大規模地震が、今後30年以内に発生する確率が70から80%であると発表しています。

各ご家庭で、家具の固定、食料の備蓄、非常用持ち出しバッグ、家族の安否確認方法、避難経路の確認をお願いします。

防災訓練（本部）

教育育成委員会

委員長　小木曽みどり

教育育成委員会では川路の未来を明るくしてくれる子ども達の事を一番に考えて、今年度いろいろな活動をしていきたいと考えています。

自然や文化に触れ、生き甲斐や川路に住む事を誇りに思う心を育てたいと願い、ホタルの観察勉強会・星空観測会を計画しました。私達の住む川路には、こんな素敵な所があるんだ！と子どもたちの心に想い出として残ってくれれば嬉しいです。又、協力事業として、通学合宿の様子を見せて頂いたり、かわらんべ祭りに参加して、川路の良さを飯田市全体にも広めてみたいと思います。

先日開催しました「子育て意見交換会」では、保育園・小学校・中学校の保護者会長さんや、児童クラブ・延長保育に関わってくださっている保護者の方々の貴重な意見や川路の子ども達の現状が聞けてとても有意義な意見交換会となりました。川路の大人がみんなで、川路の子ども達を見守りながら、ご一緒に「子育てしやすい、住み良い川路地区」にしていければいいなと思っています。地域の皆様にもお世話になりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

かるた会

蛍観察会・勉強会

小学生通学合宿

建設安全委員会

委員長　牧内幸雄

建設安全委員会では、交通安全・防火防犯・建設の三部門を担当分けして活動していきます。

主な事業は、交通安全では、年4回実施する街頭での人波作戦、観光祭りなどの警備、地域の交通安全対策です。防火防犯では消防団など地域の防火・防犯事業への協力と防犯灯の維持管理など。建設事業では、土のう作りや点検などです。

人波作戦

年度初めに、保育園・小学校・中学校の入学式に委員長として参加しました。その後交通安全教室などへ協力する中で当委員と、私自身の責任の重さを感じております。

この原稿を依頼されていた6月18日にも山形県沖（日本海東縁部）でM6.7の地震が発生しました。地震は本当に怖いものです。この様に前触れがなく襲ってくる災害と、洪水などのようにある程度の時間が見込めるものとに対応を分けて準備する必要があると思います。

活動計画の目標は「地域の安全確保を推進する」としています。ご近所のお付き合いを大切にする事によって被害を最小限に留めることが出来るのではないでしょうか。

どうぞ皆様ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

環境保全委員会

委員長　長谷部公明

環境保全委員会では『人の営みと自然環境が調和したまちづくり』を基本目標に衛生事業と環境保全事業に取り組んでいます。

衛生事業ではゴミ集積場やリサイクルステーションの管理運営、分別指導、不法投棄防止の啓蒙活動等を行い緑豊かでゴミのないクリーンなまちづくりを推進していきます。

環境保全事業ではごみゼロ運動、天竜川河川敷アレチウリ駆除、天竜川河川敷環境整備、各区で取り組んでいただくバイパス植栽帯除草、公園の環境整備、各種団体やボランティア組織で取り組んでいただく整備作業を行い、美しい景観作りを推進していきます。

飯田市のリサイクルステーションから集められた資源はきちんと分別されており汚れも少ないため、引受先の企業からは質が高いと評価されているようです。今後もこの評価が維持できるようにご協力をお願いします。環境保全事業にも積極的に参加していただき、緑豊かで美しい川路を守っていきましょう。

植栽帯除草作業

健康福祉委員会

委員長　今村仁司

当委員会では、活動方針として、地域の多くの皆さんが「健康と福祉」に関心を持ち、豊かで活力ある安全安心な川路の地域づくりの為に、各事業を推進します。

一、ガン検診100%
一、ウォーキングによる健康講座

を主な重点施策として取り組みたいと思います。

委員会として行う主な事業は、「戦没者、満州開拓団慰霊祭」「敬老会」「ふれあい訪問」「心と体の健康づくり健康講演会」「歳末訪問」「婚活支援事業」などです。

各区で行う「いきいき教室」「おたのしみ会」「健康教室」の内容を充実してまいります。

またハートヒル川路など福祉関係施設への支援も必要な事業として実施してまいります。現在は、人生百年時代と言われております。いつまでも健康で元気に過ごすために、地域の皆様に健康と福祉に興味を持っていただき、各事業に対して、ご理解と御協力をよろしくお願い致します。

健康講座

令和元年度の施策と課題

川路まちづくり委員長　中島　千明

4月の総会で承認を戴きました、まちづくりの新たな目標は「豊かで活力ある安全・安心な川路」です。

その実現に向けて、4つの重点施策を掲げました。

1つ目は、「住み続けたいと思える川路まちづくり」です。すでに、皆さんにまちづくりの事業を、分かりやすく伝える年間カレンダーを作成して、配布をしました。これを川路を離れている兄弟や子、孫に送り、故郷に帰る気持ちを持って戴きたいと考えております。

また、広報のあり方をいま一度考えてみようと、回覧板に関するアンケートを実施して、よりよい広報のあり方をご提案してまいります。

いつでもどこででも、川路の情報を入手できるように、ホームページの開設も計画しております。

2つ目が、「人を育て、未来の川路づくり」です。将来を見据えて、延長保育、児童クラブや少年スポーツクラブの充実を図り、学校・地域・家庭が一体となって子ども達を育てていきたいと思います。

3つ目は、「川路に住もう！健康で豊かに」です。人口減少が進むなか、川路の居住者は増加しています。川路に住んで、健康で豊かに生活するための目標を、「川路居住憲章」にまとめます。

川路に生まれ育った世代が次の世代に繋ぐ指針です。

4つ目が、「川路の産業・観光・農業の促進」です。土地管理組合などとの連携を図りながら、地域産業の発展と雇用の安定に取り組んでいきたいと思います。

さらに、今年度は三遠南信道の天竜峡大橋が完成します。インター周辺の施設整備と、イベント広場での、住民参加型事業展開を提案していきたいと考えています。

まちづくりに対するご意見、ご提案、要望を広く地域の方々からお聞きするために、7月から8月にかけて、各地区を回る「タウン・ミーティング」を実施します。そこからあがった様々なご意見を踏まえ、8月に予定されている市政懇談会に臨みたいと思っています。

地域の方々のさらなるご支援をお願い申し上げ、新年度のご挨拶とさせて戴きます。

総会

シリーズ 私が考える川路の未来デザイン 7

帰りたいと思える場所に

5区　木下　穂乃香（高校生）

私が考える川路の未来デザインは、いつでも帰ってきたい、と思える場所です。私は川路に住んでいて、地区を歩いていると声をかけてくれる人や、私のことを知ってくれている人がいます。川路は、他の地区に比べ人同士の距離が近く、暖かい場所だと感じます。私は、こんな優しい雰囲気のある川路がずっと続いていってほしいと思います。少子高齢化が進み、人口は減少してきています。でも、だからこそお互いが支え合い、協力し合いながら、今以上に人と人との繋がりが強い地区になってほしいです。繋がりが深まれば、自分のことを知ってくれている人がいつもそばにいて、安心できる場所になります。

そんな暖かく優しい雰囲気があり、安心出来る場所に、なっていってほしいと思います。

川路5区附近

第1回キックオフ・ミーティング開催

動きはじめた地区

去る5月19日（日）、川路公民館大会議室で、まちづくり委員会主催のキックオフ・ミーティングが開かれました。地域づくりやまちづくり委員会の方針について自由に語り合う場、と言えばわかりがよいと思います。

今村副会長の司会でミーティングがスタート。中島会長から、まちづくりの事業、広報の効率化、川路居住憲章、天竜峡IC完成について説明を受けました。

そのあと、今村公民館長、若い女性の立場から関島路乃さん、川路オリンピックを企画された今村正美さん、そして原田総務企画部長がパネラーとして意見を述べました。

討論のなかで、行事への参加者が少ないことにどう対処するのか、今村正美さんから、所属する場の連絡を密にして協力をお願いすることも大事ではないか、との意見が出されると、会場のあちらこちらに頷く顔が見られました。

この日は、55人が集まりましたが、その多くが役員でした。一般区民に伝えたかったのですが、そこは残念な結果でした。

今回、ミーティングに参加した総務企画部の女性委員に感想を訊ねてみました。

私が参加してみて、頭によぎった友達の言葉が、「4区にも女性の集まる会が欲しいよね。」です。

4区に住んでいながら知らない方が大勢います。この言葉が大事な事だと感じたので友達に相談したところ、4名の方が賛同してくれました。

女性の会を立ち上げ、その中で世代を越えた人の繋がりを作り、生き生きと楽しく過ごせる地域にしていきたいと思っています。私も微力ながら動き出すきっかけとなった会でした。

という感想がありました。

■ 平成31年度 川路まちづくり委員会予算書 ■

収入金額　19,339,214円
支出金額　19,339,214円
差引額　0円

〈収入の部〉　単位：円

内容	今年度予算額	前年度決算額	対比（決算－予算）	備考
本会計繰越金	0	813,328	813,328	本会計の前年度繰越金
分配金の前渡し金(各委員会繰越金)	3,297,114		△3,297,114	前年度の各委員会通帳残金合計
地区費	7,942,000	7,942,000	0	まちづくり会費
交付金	3,120,000	2,851,000	△269,000	市からのパワーアップ交付金
	3,500,000	3,298,554	△201,446	市等からの各種事業助成金
企業協力金	900,000	860,000	△40,000	企業協力金
福祉協力金	280,000	270,984	△9,016	福祉協力金
雑収入	300,000	662,522	362,522	寄付、ふるさと納税
	100	379,106	379,006	利息
合計	19,339,214	17,077,494	△2,261,720	

〈支出の部〉

	内容	今年度予算額	前年度支出額	対比（予算－決算）	備考
各委員会（総事業費）	役員会	5,903,920	5,340,632	563,288	活動紹介、情報発信事業他
	地域振興委員会	1,150,000	971,768	178,232	ふるさと納税等
	建設安全委員会	1,011,000	1,259,133	△248,133	支障木搬去、交通安全備品購入
		434,070	177,660	256,410	防犯灯維持管理費（事業会計）
	健康福祉委員会	1,785,000	1,484,812	300,188	敬老会等福祉事業
	環境保全委員会	1,500,000	1,112,777	387,223	環境美化活動
	教育育成委員会	1,052,000	847,467	204,533	子育て支援、団体活動支援
	公民館費	2,963,000	2,889,830	73,170	文化祭、夏期大学等
特別委員会	延長保育運営委会	550,000	650,000	△100,000	運営補助金
	川路居住憲章委員会	0	0	0	
	川路公民館建設検討委員会	0	0	0	
基金・特別会計積立て	自主防災会	300,000	300,000	0	H30災害対策委員会より移行
	土木建設基金	300,000	300,000	0	H30は役員会会計より支出
	公民館建設基金	1,000,000	1,000,000	0	H30は本会計より支出
	福祉基金	300,000	270,984	29,016	福祉協力金として寄付
	防犯灯整備基金	0	600,000	△600,000	H30は本会計より支出
	ふるさと納税等寄付特別会計	550,000	0	550,000	新規開設
その他	予備費	540,224	0	754,985	補助金事業立替等
	合計	19,339,214	17,205,063	2,348,912	

役員名簿の訂正

農家組合長
誤　8区　今村隆
正　8区　今村隆司

川路祇園祭り保存会
誤　会長　今村隆司
正　会長　小田文雄
誤　副会長　村澤勝美
正　副会長　村澤勝實

令和元年度のまちづくり委員会役員名簿に誤記がありました。おわびを兼ねて訂正させて頂きます。

■ 平成30年度 川路まちづくり委員会決算書 ■

収入金額　17,077,494円
支出金額　16,862,733円
差引額　214,761円

〈本会計収入の部〉　単位：円

科目	予算額	決算額	対比（決算－予算）	備考
前年度繰越金	813,328	813,328	0	本会繰越金
地区費	7,800,000	7,942,000	142,000	まちづくり会費
交付金	2,840,000	2,851,000	11,000	市からのパワーアップ交付金
	1,960,000	3,298,554	1,338,554	市からの各種事業助成金
企業協力金	800,000	860,000	60,000	企業協力金　44社
福祉協力金	200,000	270,984	70,984	福祉協力金
雑収入	0	662,522	662,522	寄付、ふるさと納税
	264,029	379,106	115,077	各種団体からの助成、利息
合計	14,677,357	17,077,494	2,400,137	

〈本会計支出の部〉　単位：円

科目	収入額	支出額	残金	備考
直接払い	17,077,494	245,400	214,761	本会計から補助対象者へ直接払い
各委員会分配金		14,746,349		各委員会への分配金
基金等積立て		1,870,984		まちづくり基金等への積立て
合計	17,077,494	16,862,733	214,761	

表①　本会計・各委員会収支一覧表　単位：円

科目	収入額	支出額	残金	備考
本会計	17,077,494	16,862,733	214,761	
役員会	6,614,009	5,340,632	1,273,377	祇園まつり支援金の立替、保険料等
地域振興委員会	1,450,007	971,768	478,239	広報、飯田りんごん等
建設安全委員会	1,459,073	1,259,133	199,940	交通安全備品購入、各団体助成等
	444,071	177,660	266,411	防犯灯維持管理
健康福祉委員会	1,785,008	1,484,812	300,196	敬老会等福祉事業
環境保全委員会	1,288,001	1,112,777	175,224	環境美化活動
教育育成委員会	1,068,003	847,467	220,536	子育て支援、団体活動支援
災害対策委員会	300,000	300,000	0	助成金によるトランシーバー等購入
公民館	3,058,260	2,889,830	168,430	文化祭、夏期大学等
延長保育運営委員会	650,000	650,000	0	運営補助金
合計	35,193,926	31,896,812	3,297,114	

表②　基金等の収支一覧表　単位：円

科目	収入額	支出額	残金	備考
特別積立金(公民館建設等)	6,455,976	1,000,553	7,456,529	本会計より、利息
福祉基金(地域福祉充実)	5,136,936	320,297	5,457,233	福祉協力金より、定額10年満期利息
防犯灯整備基金(防犯灯新設)	900,007	600,174	1,500,181	本会計より、利息
建設基金会計(道路補修等)	7,803,201	300,585	8,103,786	役員会会計より、利息
スポーツ文化振興基金(防犯看板新)	956,842	7,622	964,464	公民館会計より（経費差引後）
合計	21,252,962	2,229,231	23,482,193	